

NATO大規模空軍演習

史上最大規模 日本の空自も参加

〔ヴィーン＝森野白

馬〕北大西洋条約機構（NATO）の加盟国を中心とする大規模な空軍演習が12日からドイツで始まりました。これに対し、オーストリアのヴィーンで10、11両日に開かれた世界各国の平和活動家らが集う「平和会議」では、「緊張の激化を招く」と批判や懸念が噴出しました。

訓練にはNATO加盟国を自指すスウェーデンに加え、米国との同盟強化を目標する日本の航空自衛隊も参加。約1万人と250機の航空機が集結するとしてみられています。ド

イツ空軍は合同の航空訓練の規模を「NATO史上最最大」と位置付けています。

取材に「エスカレーショ

ンを招いている一方、外

交努力が見えてこない」

と批判。「核使用の脅威

と、原発が標的になる危

険が増している」と警告

しました。

米国の経済学者ジョン

・サックス氏は、日

本やオーストリアとの

関係深化をはかるNAT

Oの動きを「中国を標的とした東方拡大」と形容

しました。

・ボドロフ代表は本紙の